

山梨県の甲州ワイン海外プロモーションについて

平成22年3月

山梨県商工労働部産業支援課

山梨県は、富士山をはじめとする3千メートル級の山々に囲まれた地形から昼夜の温度差が大きく、糖度の高いおいしい果物が生産されています。特に、ブドウの生産量は日本で、このぶどうから造られるワインも国内生産量の約4割を占めるワイン王国です。

山梨県で古くから栽培されている日本オリジナルのブドウ品種「甲州」からは、高品質な白ワインが生産されており、その繊細でクリーンな味わいは、和食、特に魚介類や野菜などの素材を生かした料理との相性が良く、洞爺湖サミットにおいて、各国の首脳から高い評価を頂きました。

そうした中、山梨県のワイン生産者15社と甲州市商工会、甲府商工会議所、山梨県ワイン酒造協同組合は、甲州ワインの品質向上、世界市場における認知度向上及び販路の拡大に向け、「甲州ワイン EU 輸出プロジェクト(Koshu of Japan、略称 KOJ)」に3年計画で取り組んでいます。

このプロジェクトは、英国在住で、ワイン業界の世界的権威である「マスター・オブ・ワイン」の資格を持つリーン・シェリフ氏をコンサルタントに迎え、世界のワイン情報の発信地であるロンドンにおけるプロモーションを皮切りに、オランダや北欧各国でのPRを計画しており、3年目にはEU域内の有名レストラン100軒に甲州ワインを置いてもらうことを目指しています。



KOJ 15社の甲州ワイン

日本最大のワイン産地である山梨県でそのほとんどが生産される甲州ワインをEU市場へ売り込むこのプロジェクトは、経済産業省の「JAPAN ブランド育成支援事業」に昨年6月採択されるなど国の支援を受けるとともに、山梨県の横内正明知事や甲州市の田辺篤市長も現地に赴いてトップセールスを行うなど地元自治体も全面的にバックアップしています。

去る1月12日から15日までのロンドンプロモーションにおいては、プロジェクトの初年度であることから、甲州ワインの認知度向上とファン獲得を目指して4つのイベントが行われました。

12日の夜は、在英国日本国大使館において、英国日本協会の会員を中心に、親日英国人や在留邦人を対象にしたプロモーションを行いました。このイベントは、大使館、山梨県及び



予想を上回る参加者を集めた在英国日本国大使館でのプロモーション(12日)

KOJ の共催で開催され、大使館のご協力などにより当初の予定を大きく上回る 200 名近い方にお集まりいただきました。来場者からは、「甲州ワインは、すっきりした軽やかな味わいで、和食によく合う」と、新鮮な驚きとともに受け入れられた様子で、確かな手応えを感じました。

13 日は、世界のワイン市場の動向に大きな影響力を持つトップジャーナリストを対象にしたプロモーションを懐石料理のレストランにおいて行いました。ジャンシス・ロビンソンやステイブン・シュパリエといった著名なジャーナリスト 21 名にお集まりいただき、甲州ワインと和食の相性の良さをじっくり味わっていた



和食に合わせて甲州ワインをテイスティングするトップジャーナリスト（13日）

いただきました。ワイン業界の重鎮であるマイケル・ブロードベント氏からは、「甲州ワインはクリーンでフレッシュ。日常的なワインとしてはパーフェクト」という大変高い評価をいただきました。

13 日の夜には、在英日本商工会議所賀詞交歓会において甲州ワインのブースを用意していただき、280 名を超える日系企業の幹部の方に甲州ワインをテイスティングしていただきました。試飲ブースの前には多くの来場者が集まり、用意したワインがほとんど空になるほどの人気でした。

15 日は、現地のレストラン経営者やソムリエ、食関係ジャーナリスト、流通関係者などを対象にしたテイスティング・イベントを行いました。日本のワイン、それも甲州だけで 30 銘柄近いワインが一堂に揃うということで、ワイン業界関係者の間でも高い関心を呼び、130 名を超える方に来場していただきました。来場者



甲州ワインをテイスティングする現地のレストラン経営者、ソムリエなど（15日）

には「爽やか、フレッシュ、繊細、ヘルシー」と好印象を持って受け入れて頂いた一方、コルク栓やラベル、ネーミングなどに関して現実的な厳しいご指摘や貴重なアドバイスを頂きました。

今回のプロモーションが、事前の期待を上回る大きな反響を得られた要因としては、

- 大使館との共催によるイベントの開催により、国が支援しているということを目に見える形で示していただけただけなことや、横内知事や田辺市長のトップセールスにより地

元自治体が全面的にバックアップしていることを示したことなどから、甲州ワインとそのプロモーションに対する信頼度が格段に高まったこと

- 甲州が日本オリジナルのブドウ品種であり、英国のワイン業界関係者にとって未知の品種であったため、好奇心とともに高い関心を持って迎えられたこと
- 甲州ワインの特徴である「低アルコール」、「程よい酸味」、「フレッシュな味わい」が、英国においてしっかり根付いた日本食と非常に相性がよいことを実感してもらえたこと

などが考えられます。

今後は、今回のプロモーションで得た高い評価と勢いを失うことのないよう、現実的な課題を一つ一つクリアしながら、本格的な輸出に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

甲州ワインは、国産ワインの品質の高さを競う「国産ワインコンクール」でも数多くの賞を受賞しています。高品質な国産ワインを海外にも広げるため、国産ワインコンクールの受賞ワインを在外公館へ斡旋する仕組みが外務省の協力によって平成20年に構築され、これまでに延べ36の在外公館が、61銘柄、約2千本の受賞ワインを調達し、在外公館の公式行事で受賞ワインが提供されています。

こうした取り組みを通して、甲州ワイン・山梨県産ワインの認知度が向上し、海外においてもブランドが確立されることにより、山梨県全体のイメージアップにつながるとともに、本県の主要な地場産業であるワイン業界はもとより、農業や観光業など幅広い産業に波及効果が及び、山梨県全体が活性化することを期待しています。